

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成30年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(4/10)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
東九州メディカルバレー構 想特区 (大分県、宮崎県)	3.9	4.3 進捗度 ・医療関連機器 の市場化件数 133% ・新規医療機器 製造登録事業 所・製造販売許 可業者数 200% ・新規輸出する 医療関連機器を 製造する企業 50% ・新規海外医療 技術人材育成数 952%	3.5 規制の特例等 ・非治験臨床性 能評価制度適用 の拡大 財政支援等 ・医療関連機器 産業参入促進事 業 地域独自の取組 ・大分県医療機 器産業参入加速 化事業 ・宮崎県産学官 共同研究開発補 助金 等	3.8	<p>・大分県と宮崎県の産学官が地域資源を活用した医療関連機器産業と国内外の医療技術人材の育成は順調に進捗している。ASEAN諸国を対象とする人材育成を通じて医療機器の海外展開を促進するなど、相乗効果も期待できる。</p> <p>・医療関連機器開発に参入する企業が増え、市場化の実績も増えていることが評価できる。地域独自の取組の成果もあって、両県における企業のネットワークが形成されており、海外展開へと結び付ける支援の強化が求められる。</p> <p>・数値目標(4)「大分・宮崎両県の産学官による新規海外医療技術人材育成数」については、成果の達成状況は素晴らしいものの、目標値の上方修正が必要。目標値と実績値の乖離が大きいことについて、内容の解析が更なる発展へのヒントになると思われる。</p>